

2021年度協定留学プログラム  
派遣学生留学状況報告書（最終）

| 非公開希望    | 項目   | 内容   |
|----------|------|--|
|          | 所 属  | 国際社会科学部                      国際社会科学科                      3年（留学年次）<br>4年（帰国年次）   |
| 原則<br>公開 | 留学先  | ※大学名、学部、学科名を記入してください。<br>オックスフォード・ブルックス大学 人文社会科学部  |
| 原則<br>公開 | 留学期間 | ※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。<br>2021年      9月      13日    ～    2022年      5月      14日<br>出国日      2021年                      8月                      30日<br>最終帰国日    2022年                      5月                      18日 |

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

## 1. 留学全般について

### （1）留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学当初は、一人暮らしと学業の両立に一番苦労したように思います。もちろん、イギリスでの新型コロナウイルスの感染状況が日本と比べて深刻だったため、その点も常に注意しなければならなかったのも若干ストレスになっていたかと思います。ただ、新しい環境での生活や授業も2、3か月ほど経つと慣れていき、留学期間を楽しめるようになっていました。振り返ると、やはり最初の1か月が一番大変でした。

留学前からの意識の変化としては、周りの人への感謝の気持ちをより持つようになり、異国で初めてのことをするとしても何とかやっていけるという自信にも繋がったりしました。今まで当たり前だったことが当たり前ではなく、問題が起きても全て自分から解決していかなければならないため、精神面で留学前と比べると成長できたと思います。

### （2）留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

学業面に関しては、履修したいと思っている授業の基礎知識を日本語でいいので、少し学んでおくことで授業の理解がよりスムーズにできたのではないかと思います。ただ、そこまで後悔していることではないので、渡航前に余裕があればやるくらいでいいと思います。生活面では、洋画をもっと観ていれば良かったかなと思います。私はそこまで洋画を観る人ではなかったため、現地の友達と話す時などに何の映画の話をしているのか分からないことがたま

にありました。洋画観賞が好きな方は問題ないと思います。

## 2. 留学先大学について

### (1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

とても魅力的な授業や教授ばかりでした。日本の教授と比べて、皆さんプロフェッショナルな印象がありました。特に、教授ご自身が、それぞれ専門とされている分野に対してとても情熱を持っているのが伝わってきて、ただ教えてもらうのではなく、その学問の面白さにも気づかされるような授業が多かったように思います。また、イギリス人の教授だけではなく、様々なバックグラウンドを持った教授の授業を受けられるのも良かったです。

### (2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

キャンパスは複数あるのですが、私はメインのキャンパスしか使わず、周りの友人もほとんどそうでした。キャンパスはモダンな建物で、施設も充実しています。図書館は24時間使用可能ですし、軽食がとれるカフェや食料品や日用品を変える Co-op もキャンパス内にあり、便利です。

### (3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

**語学面：**留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

現地学生も履修できるものの、ほとんどインターナショナルな学生が履修するような授業はあります。単位として取ることもできますし、単位にカウントしないで追加科目として履修することもできるようでした。授業は他の授業と同じような感じで、授業内容としては英語でレポートやエッセイの書き方を学ぶ授業や、スピーキングに特化した授業などバリエーションがあります。費用はかかりません。

**生活面：**生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

生活面では、インターナショナルな学生が繋がれるバディ活動のようなものがあり参加しましたが、バディグループによってきちんと活動しているかどうかは分かれている感じでした。私の参加したグループはあまり活動が頻繁にはありませんでした。他の国から来ている学生と知り合う場としては良いかもしれません。また、定期的にイギリスの観光地（ケンブリッジやコッツウォルズなど）に1日旅行に行けるバストリップもあり、費用はかかりますが、個人で行くよりも安く行けるため人気でした。

**資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。**

特にありませんでした。もしかしたら個人の状況によっては何かあるかもしれないので、大学に確認してみると良いと思います。

**(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。**

治安は良いと思います。オックスフォード自体の治安が良いらしく、大学周辺も安全でした。ただ、いくら安全だと言っても夜に一人で行動するのは出来るだけ控えた方が安心だと思います。

**(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。**

総合的に、留学先としておすすめできる大学です。授業も充実しており、他国から学びに来ている学生も多いので、異文化に触れることができます。他の大学の授業を経験したことがないので比較はできませんが、教授も熱心に授業を行って学生と向き合っていたように感じます。

**(6) 留学先での履修科目等**

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

| ①留学先での履修科目名 (単位数)                             | ②本学で単位認定された科目名 (単位数)                |
|---|-------------------------------------|
| Marketing Management (15)                     | Global Marketing (2)                |
| Organisational Behaviour and Management (15)  | 組織行動論 (2)                           |
| Academic Writing for Business (15)            | Advanced Academic Writing (1)       |
| International Business Strategy (15)          | International Business (2)          |
| International Finance (15)                    | Theory of International Finance (2) |
| Introduction to Econometrics (15)             |                                     |
| Creating and Delivering the Retail Brand (15) |                                     |
| International Markets and Competition (15)    |                                     |
|   |                                     |

### 3. 宿舍について

**(1) 種類**

大学の寮

**(2) 家賃**

月額 (現地通貨) 約 £685 、(日本円) 約 11 万円

**(3) 食事**

自炊

**(4) 大学までの交通手段、所要時間**

徒歩 15 分

**(5) 感想、良かった点・悪かった点**

5～6人のフラットで、キッチンのみ共有なのでプライベート空間がありつつも、キッチンでフラットメイトと交流もできて良かったです。21歳以上の学部生と院生が住める寮に住んでいたのですが、学部生のみが住める寮よりも静かで良い環境とのことでした。悪かった点は、フラットメイトが夜中にキッチンでパーティーをすると、どうしてもうるさくなってしまいう点です。毎日ではないので仕方ないかなと思います。また、フラットによってこのようなことが無いところもちろんあると思います。

**4. 費用について**

**(1) 学 費**

協定留学のため、現地大学には学費を支払っていません。

**(2) 渡航方法と金額**

飛行機（日本円）約 20 万 円

**(3) 生活費**

（現地通貨）月額 約 £890 、（日本円）約 15 万 円

※ 宿舍費を含めた金額を記入してください。

**(4) 費用の持参方法**

クレジットカード／現金／その他（ デビットカード ）

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

イギリスはとてもキャッシュレス決済が進んでいます。私自身ほとんどカードで買い物をしていました。ただ、日本から持参したクレジットカードやデビットカードはポンドから円に換算されて口座から引き落とされるので、レートの影響が出てしまうと感じました。私は現地の銀行で口座を作り、そこでもデビットカードを発行し、金額によって使い分けたりなどしていました。

クレジットカードやデビットカードはお財布がかさばらない点で便利だと思います。ごくたまに、一定額以上買い物をしないとカードは使えないというお店があるので、現金も持っておいた方が良いでしょう。

**(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳**

寮費の支払いに使用しました。

**5. 保険について**

**(1) 保険会社名**

東京海上日動火災保険株式会社

**(2) 保険料**

95,120 円

### (3) 加入した保険の種類、内容

海外旅行保険（傷害死亡、傷害後遺障害、治療・救援費用、疾病志望、航空機寄託手荷物遅延等）

### (4) 感想、良かった点・悪かった点

国際センターからご説明いただいた学研災付帯海外留学保険に加入しました。国際センターを通して、エージェントの方からご説明があるので、自分で一から探して加入するよりも分かりやすく、スムーズに手続きが進められたと思います。悪かった点は特にはないです。

## 6. 荷物について

### (1) 荷物の送付方法

手荷物／航空便

### (2) 持って行って良かったと思う物

ヒートテック、ダウンジャケット、化粧品類、日本の本、キャンパスノート数冊、医薬品、洗濯ネット

### (3) 持って行く必要が無かったと思う物

キッチンスポンジ、必要枚数以上の布巾

### (4) 持って行けば良かったと思う物

特にありません。生活用品は全て手に入ります。

## 7. 平日および週末の平均的な過ごし方

### (1) 平日

授業がある日はそれに合わせて行動します。授業の資料を事前に確認して予習したり、帰宅後には復習したりします。もちろんリラックスする時間も必要なのでバランスを見ながら過ごしていました。

授業がない日は基本的に寮で過ごしていました。課題のメ切が近くなると1日中課題に取り組んでいましたが、そうでなければ、散歩に行ったり、友人と休みの日が合えば一緒に外出したりしていました。

### (2) 週末

授業がない平日と同じように過ごしていました。平日に予定が合わない友人と会うこともありました。

平日と週末で過ごし方が大きく異なっていたというよりは、イギリスの冬は天気が悪い日が比較的多いので、天気が良い日には外出して天気が良くない時はあまり外出しないことが多かったと思います。

## 8. 後輩へのアドバイス等

留学に行くことが決まってからは、VISAの申請や履修する授業の選択、寮の手続きなど、様々なことを同時に進めなければいけないかと思います。もちろん学習院での授業もあると思うので、とても忙しくなるかと思いますが、やるべきことをきちんと準備しておく、留学直前になって焦ることがないと思うので、計画立てて進めていくと良いと思います。

留学は本当にあっという間です。最初の1週間は長く感じましたが、それ以降は、1週間が経つのがとても早く、気づいたら1学期が終わっています。2学期は1学期よりもさらに早く時間が過ぎていったように感じました。ネイティブの学生に囲まれて勉学に励める経験はなかなかないと思うので、ぜひ大学生活を楽しんでください。また、授業と生活との両立で苦しむことがあるかもしれませんが、そういう時は一人でなんとかしようとしすぎず、周りの友人とそのような思いを共有してみたいなと思います。意外と周りの人も似たような思いを持っていて、自分一人だけではないんだと感じられます。

留学を通して、私自身、人として成長できたと感じています。皆さんもきっと、語学力も伸びると思いますが、それ以上に精神的に成長でき、1年間海外で頑張ったんだという自信がつくと思います。ぜひ、目的をしっかりと持って充実した留学生活を送ってください。応援しています！

## 9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

特にありません。